

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

### 事業名 ぎふの木で家づくり支援事業費補助金（コロナ対策）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

林政部 県産材流通課 販路拡大係 電話番号：058-272-1111（内3015）

E-mail：[c11545@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11545@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 21,400 千円（前年度予算額：21,400 千円）

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	21,400	0	0	0	0	0	0	0	21,400
要求額	21,400	0	0	0	0	0	0	0	21,400
決定額									

## 2 要求内容

### （1）要求の趣旨（現状と課題）

消費税率引き上げ、新型コロナウイルスの影響による経済の減速により、新設住宅着工戸数は、令和2年度は前年度比8.1%減となり、大きく減少した。令和3年度は、回復しているもののコロナ前の令和元年度までは至っていない。

こうした中、県内工務店は、新型コロナウイルスの影響により、住宅展示場の休業やイベント開催の自粛を余儀なくされたことから、受注件数が大幅に減少すると見込まれるなど、経営状況は非常に厳しい。

特に、感染拡大防止のため、第三者が入室する住宅リフォームを敬遠する動きが出てきたことから、これを主な事業とする中小工務店の経営状況はより厳しい。

このため、ぎふの木で家づくり支援事業の補助要件を拡充し、木材需要を一層喚起するとともに、住宅リフォームを主な事業とする中小工務店をはじめ県内工務店の経営を支援する。

併せて、川上（木材生産事業者）から川中（製材加工・流通）、そして川下（工務店）への林業・木材産業のサプライチェーンの維持を図ることとする。

## (2) 事業内容

さらなる県産材利用を促すため、構造材に「ぎふ性能表示材」又は「ぎふ証明材かつ JAS 製品」を 90%以上、かつ横架材に 8 m<sup>3</sup>以上使用する場合、従来のぎふの木で家づくり支援事業費補助金による補助額に 100 千円を上乗せして助成する。

また、新築及び改修で、外壁材など外構に「ぎふ証明材」を一定量以上使用する場合、一定額を助成する。

### ①新築タイプ

#### ○構造材：10,000 千円

(県内) 100 棟×@100 千円 = 10,000 千円

※「ぎふ性能表示材」又は「ぎふ証明材かつ JAS 製品」を構造材に 90%以上使用し、かつ横架材に 8 m<sup>3</sup>以上使用する場合、100 千円を上乗せ助成。

#### ○外壁材：3,600 千円

(県内) 20 棟×@180 千円 = 3,600 千円

※「ぎふ証明材」を 20 m<sup>2</sup>以上使用する場合、3 千円/m<sup>2</sup>助成(上限 150 千円)

※「ぎふ性能表示材」又は「ぎふ証明材かつ JAS 製品」を使用する場合、600 円/m<sup>2</sup>加算(上限 30 千円)

#### ○ウッドデッキ：1,600 千円

(県内) 40 棟×@40 千円 = 1,600 千円

※「ぎふ証明材」を 5 m<sup>2</sup>以上使用する場合、40 千円(定額)を助成

#### ○木塀など：3,000 千円

(県内) 20 棟×@150 千円 = 3,000 千円

※「ぎふ証明材」で 2m以上設置する場合、15 千円/mを助成(上限 150 千円)

### ②改修タイプ

#### ○外壁材：900 千円

(県内) 5 棟×@180 千円 = 900 千円

※20 m<sup>2</sup>以上の「ぎふ証明材」を使用する場合、3 千円/m<sup>2</sup>助成(上限 150 千円)

※「ぎふ性能表示材」又は「ぎふ証明材かつ JAS 製品」を使用する場合、600 円/m<sup>2</sup>加算(上限 30 千円)

#### ○ウッドデッキ：800 千円

(県内) 20 棟×@40 千円 = 800 千円

※「ぎふ証明材」を 5 m<sup>2</sup>以上使用する場合、40 千円(定額)を助成

○木塀など：1,500千円

(県内) 10棟×@150千円 = 1,500千円

※「ぎふ証明材」で2m以上設置する場合、15千円/mを助成(上限150千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県：10/10

(4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	21,400	<b>県内新築タイプ</b> (構造材) 10,000千円 (100棟×100千円) (外壁材) 3,600千円 (20棟×180千円) (ウッドデッキ) 1,600千円 (40棟×40千円) (木塀等) 3,000千円 (20棟×150千円) <b>県内改修タイプ</b> (外壁材) 900千円 (5棟×180千円) (ウッドデッキ) 800千円 (20棟×40千円) (木塀等) 1,500千円 (10棟×150千円)
合計	21,400	

### 決定額の考え方

### 4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県産材住宅の建設促進は、岐阜県森林づくり基本計画(R4~R8)に位置付けられている。

(2) 後年度の財政負担

令和4年度新型コロナウイルス感染症対策期間

(3) 事業主体及びその妥当性

県：県が直接関与することで信頼性が高まり、県産材の需要喚起につながる。

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	ぎふの木で家づくり支援事業費補助金（新型コロナ経済対策）
補助事業者（団体）	住宅建設者（施主） （理由）直接施主へ補助することで、県産材の需要喚起につなげるため
補助事業の概要	（目的）兼産材の需要を喚起し、県内工務店の経営を支援するとともに木材のサプライチェーンを維持 （内容）県産材購入にかかる割増経費相当額を補助
補助率・補助単価等	<b>定額</b> ・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）1棟当たり40千円～180千円 （理由）県産材購入にかかる割増経費相当額を補助
補助効果	・「ぎふ性能表示材」の出荷量増につながる ・県内新設戸建軸組住宅に占める県産材住宅の建設割合が高まる
終期の設定	終期 令和4年度新型コロナウイルス感染症対策期間 （理由）新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内工務店の経営を支援するとともに木材のサプライチェーンを維持

### (事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p style="margin-left: 20px;">県内工務店の経営安定化及び林業・木材産業のサプライチェーンの維持を図る。</p>
---

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	
	(R)	実績	目標	目標	(R)	達成率
① ぎふ性能表示材製品出荷量						%
② 県内外での県産材住宅の建設戸数	2,011	2,011	2,100	2,200	2,300	%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	千円	千円	4,407千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	(取組内容) ■構造：19棟の申請があった。 ■外壁材：2棟の申請があった。 ■ウッドデッキ：5棟の申請があった。 ■木塀等：1棟の申請があった。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	木材需要の大半を占める住宅の新設住宅着工戸数が大幅に減少していることから、木材需要を喚起する
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価)	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
---------------------

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--